



園だより

2022年11月1日発行
蒲田らびっと保育園

公園の木々も赤や黄色に色づき、季節も秋から冬へと移り変わろうとしています。肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりましたね。しかし、日中はまだ暖かさを感じられる日も多くありますので、積極的に戸外に出て太陽の下で過ごすとともに、薄着の習慣を身につけて、寒さに負けない丈夫な体づくりを心がけていきたいと思ひます。気温が下がり、空気が乾燥してくると、子どもも大人も風邪をひきやすくなります。また、インフルエンザやコロナの第8波についてもちらほら聞こえてきますので、これまで同様、お子さんの体調の変化を見逃すことなく、健康観察を丁寧に行ってまいりたいと思ひます。元気に冬を迎える準備を行っていきましょうね！



今月の行事

- ☆1日(火)…身体測定
- ☆15日(火)…七五三
- ☆17日(木)…避難訓練
- ☆24日(木)…誕生会



※毎週水曜日は、かみしばい会です。

保育目標

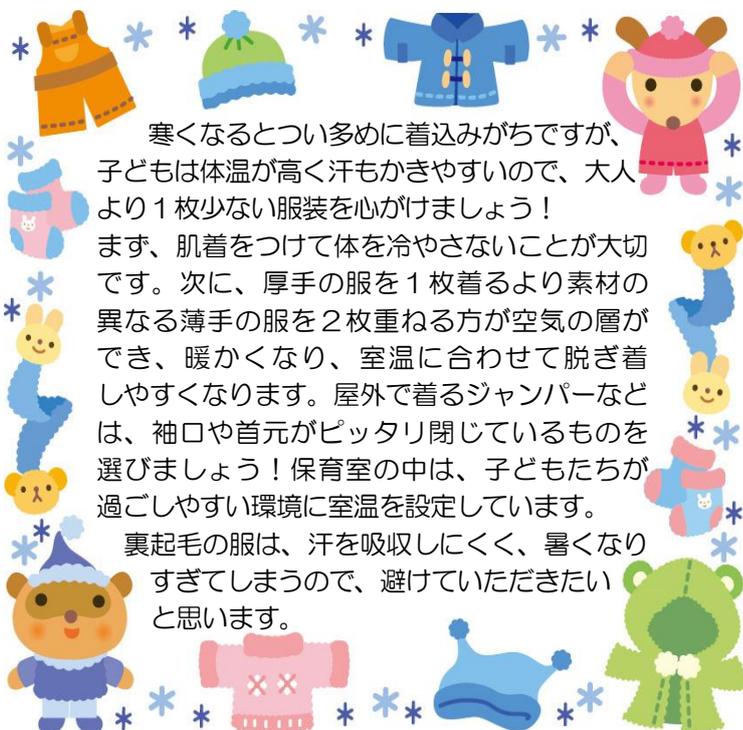
ゆり組

- ①気温の変化や体調に留意し、健康的に過ごせるようにする。
- ②簡単な言葉のやり取りを楽しみながら、友だちと関わって遊ぼうとする

もも組



- ①戸外遊びを通して、秋から冬への自然に触れ、季節の変化を感じる。
- ②友だちと一緒にいること、いっしょに遊ぶことの喜びを感じ、対人関係を広げていく。



寒くなるとつい多めに着込みがちですが、子どもは体温が高く汗もかきやすいので、大人より1枚少ない服装を心がけましょう！

まず、肌着をつけて体を冷やさないことが大切です。次に、厚手の服を1枚着るより素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が空気の層ができ、暖かくなり、室温に合わせて脱ぎ着しやすくなります。屋外で着るジャンパーなどは、袖口や首元がピタリ閉じているものを選びましょう！保育室の中は、子どもたちが過ごしやすい環境に室温を設定しています。

裏起毛の服は、汗を吸収しにくく、暑くなりすぎてしまうので、避けていただきたいと思ひます。

★★～★★『汚れた衣類の取扱いについて』のおねがい★★～★★

嘔吐物や下痢便で汚染され衣類を園内で洗うと、洗った場所が汚染され、集団感染となる恐れがあるため、吐物や下痢便で汚染された衣類は洗濯せず、ビニール袋に入れてそのまま持ち帰っていただきます。

保護者の皆様にはご負担おかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。汚染された衣類はご家庭での消毒をよろしくお願ひいたします。(大田区の取扱いに準ずる)

※感染性胃腸炎ではない嘔吐・下痢のときもあるかと思ひますが、園では判断がつかみませんので嘔吐・下痢についてはすべて『感染性胃腸炎』としての取扱いとさせていただきます。

《持ち帰った服の洗濯は・・・》

85℃の熱湯に1分以上つけるか、0.02%に薄めた塩素系漂白剤を薄めたものに10分つける。(色落ち注意！)

消毒ができたなら洗濯機に入れても大丈夫です。(他の衣類とは別に洗濯する)

汚れた場所も、塩素系漂白剤を薄めた液でしっかり消毒を行ひましょう。

